

1 市民意見交換会及び市民コメントの結果について

No.	意 見	対 応
1	市民参画・協働については、後退したように思う。市民コメントの意見を反映するかどうか、審議会で議論するのが本来の進め方ではないか。 市民がいくら意見を提出しても、職員の判断で採用されることがないのであれば、出しても意味がないということになりかねない。	市民参画については、現在実施している取組を全庁的に照会し、協働指針の見直しも含めて検討していく。
2	基本構想や基本計画には市民参画による意見が反映されているが、実施計画については市民が意見を述べる場がない。このことは承知しているが、市民としては具体的な意見を言いたくなくところである。実施計画を作成するための意見交換の場がないので、この審議会等で出された具体的な意見については、庁内でちゃんと共有していただきたい。	審議会をはじめ市民参画の場で頂いた意見は、各所管課と共有し、今後の実施計画の策定等に役立てていく。
3	市民コメントなどへの参加率が低いと感じるが、今回の実施手法等について、解決すべき点や参加率が低い原因分析等を踏まえた取組をしているか。	参加者へのアンケート等で、イベントを知ったきっかけやイベントへの評価等を伺っているので、頂いた意見を参考に、引き続きより多くの方に御参加いただけるよう取り組んでいく。

2 第6次朝霞市総合計画（案）について

No.	意 見	対 応
1	4ページの⑤市民参画について、こども基本法に基づき、こどもや若者の意見聴取をしてきたことを記載した方が良いのではないかと。 こども・若者の意見表現権がこども基本法において改めて強調されているので、その流れを踏まえていただきたい。	ご意見を踏まえ、「特に、こども基本法の基本理念を踏まえ、こども・若者・子育て当事者に対して意見を伺う機会を設け、その声を計画に反映しています。」を追記する。 (新旧対照表1ページ参照)
2	34ページの⑤に「公共施設等の老朽化対策」について記載があるが、公共施設の後には学校施設を追加した方が良いのではないかと。	学校施設は公共施設等の中に含まれていると考えるため、原案のとおりとする。
3	93ページの個別最適な学びと協働的な学びの「協働」に*があるが、「協働的な学び」で1つの単語のため、「協働」の*を取ってほしい。 または、「」で括って単語と分かるようにしてほしい。	ご意見を踏まえ、「*」を外すこととする。 (新旧対照表2ページ参照)
4	114ページのコミュニティについて、自治会・町内会の役割が増えているので、防犯防災だけではなく、見守りや福祉を入れ込めないかと。	ご意見を踏まえ、地域での見守りに関する文言を記載する。 (新旧対照表3ページ参照)

No.	意 見	対 応
5	5章のグリーンインフラについて、緑の保全という内容を表現しているが、用語解説はインフラ整備のような内容となっている。 用語解説を、計画本文の趣旨に合わせたものに修正したらどうか。	ご意見を踏まえ、用語解説を「自然が有する多様な機能（生物の生息・生育、景観形成、水循環など）を活用し、災害対策や環境保全を解決する考え方」に修正する。 （新旧対照表6ページ参照）
6	基本構想に市民参画を明記しているのに、前回の基本計画より市民参画の記述が弱くなっている。 市民参画について、再三意見を述べたのに、なぜ後退したのか納得できる説明をいただいていない。条例を作れとまでは言わないが、後退させてしまうのはまずいのではないか。市役所として、市民の声を聞くというのは大事なことはないか。	第5次後期基本計画に取り組む中で、「条例や指針を作ることよりも活動を増やしてほしい」という市民からの要望が多かった。そのため、第6次総合計画では協働指針の見直しという文言を追加したが、ご意見を踏まえ、条例などの仕組みについて検討することを記載する。 （新旧対照表4ページ参照）
7	関連する個別計画が掲載されているが、ホームページに載せる場合はリンクを設定して、飛べるようにしてほしい。	デジタルデータを作成する際に、検討し、対応していく。
8	157ページに掲載されている「二次元バーコード」という言葉は、「二次元コード」が正しいのではないか。	ご意見を踏まえ、「二次元コード」に修正する。 （新旧対照表6ページ参照）
9	年次や年度の表記は、民間は西暦に統一している。今後で良いので、表現について検討してほしい。	第6次総合計画における表記は原案のとおりとするが、今後、全庁的な対応を検討する。
10	成果指標を選んだ理由について、現状では、資料編を参照しないと分からないので、本編上にも掲載されているとわかりやすくなるのではないか。	本編にも掲載されているとわかりやすいと考えるが、今回は原案のとおりとし、頂いたご意見は後期基本計画策定の際に参考とする。
11	総合計画をデータで公表する際は、基本計画の成果指標から資料編の解説にリンクを設定すると良い。 その際は、別ウィンドウで開くように設定すると使いやすい。	デジタルデータを作成する際に、リンクを設定する。

《審議会後に頂いた意見及び対応》

No.	意 見	対 応
1	154ページの6章大柱2中柱(1)の現状と課題の第3段落の表記を「また、地域の課題解決には、自治会・町内会や地域課題に取り組む市民活動団体の育成や支援を行い、必要に応じて協働事業を展開していく必要があります。」としてほしい。	ご意見を踏まえ、自治会・町内会に関する文言を追加する。 (新旧対照表4ページ参照)
2	154ページの6章大柱2中柱(1)小柱①を「市民参画の機会の充実と推進体制の検討」とし、小柱の説明の第3段落を「また、協働指針の見直し、条例についても引き続き検討します。」としてほしい。	小柱名は原案のとおりとするが、ご意見を踏まえ、説明文に条例などの仕組みについて検討することを記載する。 (新旧対照表4ページ参照)
3	行政評価の仕組みについて、もっと議論しておくべきではなかったか。例えば、予算とどうリンクさせていくか、など。また、分野別の個別計画にも審議会等があると思うので、それらの審議会でも専門的に評価し、その結果を外部評価委員会で吸い上げる等の仕組みが考えられないか。	行政評価については、審議会でも活動指標と成果指標が混在しているとの声があり、検討してきた。具体的な評価方法は、外部評価委員会にも意見を伺いながら検討したい。
4	156ページの6章大柱3中柱(1)小柱①を「計画的な施策の推進と各種計画との連動」とし、小柱の説明に第2段落として「また、各種基本計画との連携、それらの「見える化」を進めます。」を追加してほしい。	小柱名は原案のとおりとするが、ご意見を踏まえ、説明文に各種計画に紐付けて施策を展開する表現に修正する。 (新旧対照表5ページ参照)
5	156ページの6章大柱3中柱(1)小柱②を「行政評価制度の推進」とし、小柱の説明に第2段落として「具体的には、評価指標の改善をはかりながら、内部評価(事務事業評価、施策評価、行政評価)、外部評価による公明、公正、客観的な事業の見直しを進め、次年度以降の市政運営に反映させます。また、これらを更に深化させ、行政評価制度の本格稼働を実現します。」を追加してほしい。	小柱名は原案のとおりとするが、ご意見を踏まえ、説明文に適切な評価指標に基づき評価を行うことや行政評価制度の改善を図る文言を追加する。 (新旧対照表5ページ参照)
6	裏表紙の奥付けに掲載する発行年について、他の表記と合わせて、「令和8年(2026年)」とした方が良い。	ご意見を踏まえ、「令和8年(2026年)」とする。 (新旧対照表7ページ参照)

《事務局修正》

No.	該当箇所	修正点
1	67ページ 1章 災害対策・防犯 大柱1 災害対策・防犯 中柱(2)地域防災力の強化	参考実績値「防災関係機関との連携実施回数」について、R3及びR4実績値が誤っていたため、1回に修正する。 (新旧対照表1ページ参照)
2	140ページ 5章 都市基盤・産業振興 大柱6 産業活性化 中柱(4)都市農業の振興	成果指標「認定農業者数」について、現状値を26人に修正する。また、目標値について、数値が誤っていたため、32人に修正する。 (新旧対照表3ページ参照)
3	143ページ 5章 都市基盤・産業振興 大柱7 産業の育成と支援 中柱(2)起業・創業の支援	参考実績値「商工会による経営相談」について、R5実績値が誤っていたため、2,326人に修正する。 (新旧対照表4ページ参照)